

平成21年度事務事業評価シート (20年度実施事業分)

事業番号		13 01 01	中期総合計画主要施策番号		3-09	担当課	部・課	企業局 事業課		
事業名		水道施設の耐震化					内線	3937		
							E-mail	jigyo@pref.nagano.jp		
事業の概要等	事業の目的	地域住民が安心安全に暮らせる社会の構築を目指して、水道施設における主要管路の耐震化を進め、震災時のライフラインの確保を図る。								
	事業の必要性	【現状(事業の目的との間にどのようなギャップがあるか)】 主要な管路の耐震化率はH19年度末現在で16%という状況にあり、震災時においても最低限の給水を確保するため、耐震化を進めることが求められている。 【原因分析(ギャップが発生している原因は何か)】 耐震化のための管路の布設替を行うには、多大な経費が見込まれる。 【課題の特定(事業の実施により解決しようとする課題は何か)】 管路の布設替えに伴い、効率的に耐震化を推進する必要がある。								
		事業内容								
		主要な管路の耐震化を実施する。								
	実施期間	S62 ~		根拠法令等	水道法					
成果と達成状況	事業の目指す成果		達成度(期待どおり)の判定基準(H20)			達成状況		評価		
	主要な管路を耐震化することにより、災害時においても生活に必要な水道水の確保を行う。 主要な管路の耐震化率:H24年度末23.6%		H24の目標達成に向けて、主要な管路の耐震化率を、H20末で17.7%とする。			H20年度関連工事との調整を行った結果、当初の計画を超えた耐震管の布設を実施した。 上記に伴い、H20年度末の耐震化率は20.3%となり、計画を超えた達成となった。		a.期待以上 b.期待どおり c.やや下回る d.期待以下		
事業コスト	区 分		単位	19年度	20年度	21年度(当初)	20年度の概要			
	最終予算額 (A)		千円	962,995	659,703	341,577	国庫・県単	県単		
	決 算 額 (B)		.	797,360	565,366		実施方法	直接		
	B(H21はA)のうち一般財源		千円	-	-	-	歳出節別内訳等	工事請負費 565,366 (単位: 千円)		
	概 算 人件費	従事する職員数	人	6	4	3				
	概算人件費 (C)		千円	42,840	28,596	21,447				
概算事業費 (B(H21はA) + C)		千円	840,200	593,962	363,024					
事業実績	内 容		単位	19年度	20年度	21年度(予定)	左記以外の20年度の実績			
	耐震管布設延長		Km	4.7	8.3	3.2	諏訪形浄水場など、6施設の耐震診断を実施			
	主要な管路の耐震化率		%	17.7	20.3	21.2				
事業の課題	区 分		判 定 ・ 説 明							
	事業のニーズの変化		増加	横ばい	減少	判定の説明	県営水道では、S62より耐震化工事を進めているものの、平成20年度にお客様アンケート調査を実施した結果では、「災害に強い水道施設の整備」に対する事業の要望が最も高く、災害対策に対する要望が依然として高いことを把握した。 耐震化計画を策定し、効率的・効果的な耐震化事業を行うこととしている。			
	県の関与を見直す余地		余地なし	当面余地なし	余地あり					
	有効性を高める余地		余地なし	当面余地なし	余地あり					
	効率性を高める余地		余地なし	当面余地なし	余地あり					
	課題の総括		将来大幅な水需用の増加が見込めない中で、施設の更新など従来の投資計画のほかに、耐震化事業に多額の投資が必要となっている。							